

## 造船統計速報（平成 22 年 11 月分）

平成 23 年 1 月 11 日  
 国土交通省総合政策局情報政策本部  
 情報安全・調査課交通統計室  
 担当：安達、小林  
 TEL:03-5253-8111(内線 28-743)

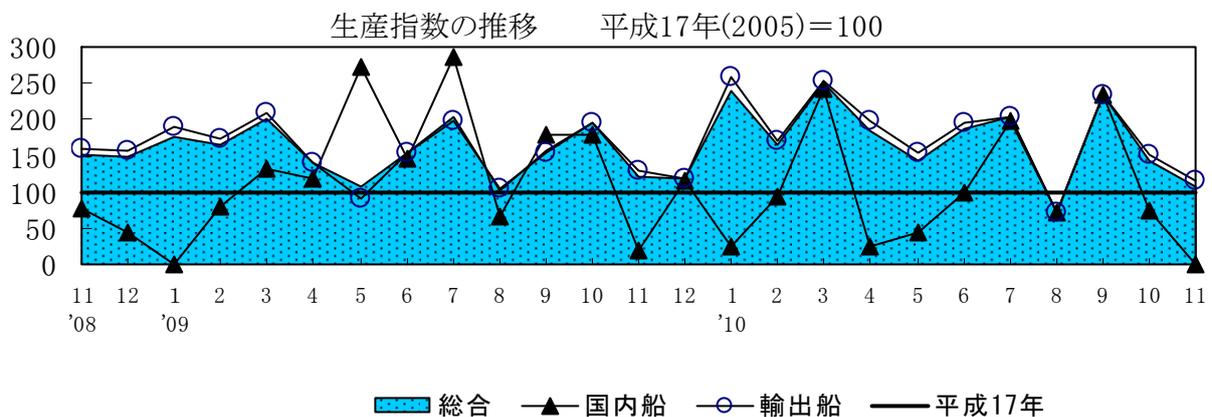
## 1. 概況

平成 22 年 11 月分の造船主要 52 工場の鋼船建造実績は、起工 33 隻、156 万 G/T、竣工 24 隻、10 5 万 1 千 G/T、竣工船価 1,079 億円、生産指数 107.3 であり、生産指数の前年同月比は、11.3%減であった。

このうち、竣工実績は全て輸出船であり、輸出船の竣工実績は、パナマ・フィリピン向けの一般貨物船 3 隻、パナマ・リベリア等向けのばら積み船 10 隻、パナマ向けの自動車専用船 1 隻、パナマ・トルコ向けの鉱石兼ばら積み船 4 隻、パナマ向けのその他貨物船 1 隻、シンガポールパナマ向けの一般油送船 3 隻、シンガポール向けの LPG 船 1 隻、パナマ向けの化学薬品船 1 隻で、合計 24 隻、105 万 1 千 G/T、生産指数 116.9 であった。

鋼船修繕実績は、117 隻、工事金額 36 億円であった。

## 2. 生産指数の推移 平成 17 年(2005)=100



注 1 本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

注 2 生産指数は、当該月の竣工船価（合計）を、基準時（平成 17 年）の竣工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。また、累計値の生産指数は、当該月までの竣工船価（合計）を、基準時（平成 17 年）の竣工船価（合計）の月平均値に当該月数を乗じて求めた数字で除して求めた指数である。なお、本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

### 3. 鋼船建造実績

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成17年平均=100)

用途別		起工		竣工		生産指数(注2)		
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	指数	前年同月比
合計		33	1,559,539	24	1,050,606	107,879,998	107.3	88.7
国内船	小計	1	206	0	0	0	0.0	—
	貨物船	0	0	0	0	0	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	0	0	0	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	1	206	0	0	0	—	—
輸出船	小計	32	1,559,333	24	1,050,606	107,879,998	116.9	—
	貨物船	27	1,112,433	19	756,775	75,792,808	—	—
	油送船	5	446,900	5	293,831	32,087,190	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—

### 4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	103	(14)	2,536,310	(1,023,309)
国内船	84	(14)	2,116,730	(1,023,309)
外国船	19	(0)	419,580	(0)

### 5. 鋼船建造実績(平成22年1月~11月の累計)

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成17年平均=100)

用途別		起工		竣工		生産指数(注2)		
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	指数	前年同期比
合計		324	15,104,299	382	17,413,991	1,944,133,601	175.9	112.4
国内船	小計	17	669,920	19	714,134	90,272,291	100.3	—
	貨物船	8	325,462	11	695,746	65,970,711	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	7	344,054	4	11,238	6,550,000	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	2	404	4	7,150	17,751,580	—	—
輸出船	小計	307	14,434,379	363	16,699,857	1,853,861,310	182.6	—
	貨物船	246	11,184,329	272	11,746,436	1,264,160,103	—	—
	油送船	61	3,250,050	91	4,953,421	589,701,207	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—

注3 結果表中の「・・」については、秘密保護上公表しないものである。

注4 鋼船修繕実績における( )内は、排水トン表示による船舶で、外数である。